



●高濃度亜鉛末塗料(ジンクリッチペイント)

# ニッペジンキー



## 種類と特長

- ニッペジンキー1000P [無機ジンクリッチプライマー]

無機質系(エチルシリケート系)の標準タイプ(標準乾燥膜厚15 $\mu$ m/回)です。ショッププライマーとしては長期の暴露耐久性(防さび力)を持っています。溶接・溶断性が比較的良く、耐熱性(約400 $^{\circ}$ C)も保持していますので、耐熱塗料との組み合わせにより、強力な防さび・耐熱効果が期待できます。**JIS K 5552 1種**に合格しています。

- ニッペジンキー1000GU [厚膜形無機ジンクリッチペイント]

無機質系(エチルシリケート系)の厚膜タイプ(標準乾燥膜厚75 $\mu$ m/回)です。エポキシ樹脂塗料などの重防食塗料との組み合わせにより、重防食塗装が可能となります。溶接・溶断性はニッペジンキー1000Pより劣りますので、ショッププライマーとしては一般的に使用されません。**JIS K 5553 1種**に合格しています。

- ニッペジンキー8000メタルグレー [有機ジンクリッチプライマー]

有機質系(エポキシ樹脂系)の標準タイプ(標準乾燥膜厚15 $\mu$ m/回)のショッププライマーです。ニッペジンキー1000Pと比較すると暴露耐久性(防さび性)がやや低下しますが、塗装作業性にすぐれています。**JIS K 5552 2種**に合格しています。

- ニッペジンキー8000HB [厚膜形有機ジンクリッチペイント]

有機質系(エポキシ樹脂系)の厚膜タイプ(標準乾燥膜厚75 $\mu$ m/回)です。ニッペジンキー1000QCと同様、エポキシ樹脂塗料との組み合わせにより、重防食塗装が可能となりますが、ショッププライマーとしては一般的に使用されません。**JIS K 5553 2種**に合格しています。

- ニッペジンキー8000ファインHB [弱溶剤厚膜形有機ジンクリッチペイント]

弱溶剤可溶形の有機質系(エポキシ樹脂系)厚膜タイプ(標準乾燥膜厚75 $\mu$ m/回)です。弱溶剤タイプにすることにより臭気が少なく、取り扱いやすさを実現しました。**JIS K 5553 2種**に合格しており、弱溶剤形エポキシ樹脂塗料などの防食塗料との組み合わせにより、オール弱溶剤重防食塗装が可能となります。

## 用途

橋梁、水門、タンク、化学プラントなど重防食塗装を要する各種鉄構造物のショッププライマーおよび下塗り。

## 容量

ニッペジンキー1000P	25kg セット	塗料液： 7.5kg 粉末： 17.5kg
ニッペジンキー1000GU	25kg セット	塗料液： 7.5kg 粉末： 17.5kg
ニッペジンキー8000 メタルグレー	20kg セット	塗料液： 4kg 硬化剤： 2kg 粉末： 14kg
	5kg セット	塗料液： 1kg 硬化剤： 0.5kg 粉末： 3.5kg
ニッペジンキー8000HB	25kg セット	塗料液： 22.5kg 硬化剤： 2.5kg
ニッペジンキー8000 ファインHB	25kg セット	塗料液： 22.5kg 硬化剤： 2.5kg

ニッペジンキー1500 シンナー	16L
ニッペジンキー8500 シンナー	16L、4L
塗料用シンナーA	16L、4L

## 塗料比較

1. ショッププライマーとしては一般にニッペジンキー1000P、ニッペジンキー8000メタルグレー、ビニレックス120アクチブプライマーエコの3製品から選定されます。使い分けについては下記項目を考慮のうえご決定願います。

ショッププライマーの種類		ジンクリッチプライマー		長暴形 ウオッシュプライマー
		無 機	有 機	
組 成	樹脂(展色剤)	エチルシリケート縮合物	エポキシ樹脂	ブチラール樹脂
	防さび成分	亜鉛末	亜鉛末	リン酸・防錆顔料
日本ペイント製品名		ニッペジンキー1000P	ニッペジンキー 8000 メタルグレー	ビニレックス120アクチブプライマーエコ
塗り重ね塗装間隔 (単独塗膜での暴露期間)		3日以上6カ月以内	16時間以上6カ月以内	4時間以上3カ月以内
防 食 性		◎ 有機・ウオッシュより優れる	○ 無機より劣るが、ウオッシュより優れる	△
塗 装 作 業 性		△ 有機・ウオッシュよりやや難	○	○
適合する上塗り塗料		エポキシ樹脂塗料～ ウレタン樹脂塗料 塗装系 (ふっ素樹脂塗料塗装系) など		油性塗料～ 長油性フタル酸塗料 塗装系など

## 2. 塗料性状

	ニッペジンキー 1000P	ニッペジンキー 8000 メタルグレー	ニッペジンキー 1000GU	ニッペジンキー 8000HB	ニッペジンキー 8000ファインHB	
規 格	JIS K 5552 1種	JIS K 5552 2種	JIS K 5553 1種	JIS K 5553 2種	JIS K 5553 2種	
混 合 比 (重 量 比)	粉 末 70 塗料液 30	粉 末 70 塗料液 20 硬化剤 10	粉 末 70 塗料液 30	塗料液 90 硬化剤 10	塗料液 90 硬化剤 10	
ポットライフ(23℃)	5時間	10時間	5時間	10時間	8時間	
乾燥時間 (23℃)	指 触	10分	2分	30分	20分	2時間
	半硬化	30分	30分	2時間	3時間	4時間
標準乾燥膜厚	15 μm		75 μm			
使用量(kg/m <sup>2</sup> ) <sup>注1)</sup>	0.16	0.2	0.6	0.7	0.7	
ミストコート <sup>注2)</sup>	不要	不要	必要	不要	不要	
色 相	ライトグレー	グレー	グレー	グレー	ライトグレー	
混合密度(23℃)	2.32	2.31	2.23	2.38	2.18	
シンナー (希釈率)	ニッペジンキー 1500シンナー (0～5%)	ニッペジンキー 8500シンナー (5～15%)	ニッペジンキー 1500シンナー (0～5%)	ニッペジンキー 8500シンナー (0～5%)	塗料用シンナーA (0～5%)	
エアレス条件	一次圧: 0.4～0.5MPa 二次圧: 12～15MPa チップNo. 163-615,617など	一次圧: 0.4～0.5MPa 二次圧: 12～15MPa チップNo. 163-615,617など	一次圧: 0.4～0.5MPa 二次圧: 8～12MPa チップNo. 163-617,619など	一次圧: 0.4～0.5MPa 二次圧: 8～12MPa チップNo. 163-617,619など	一次圧: 0.4～0.5MPa 二次圧: 12MPa以上 チップNo. 163-617,619など	
ホルムアルデヒド 放散等級	-	F☆☆☆☆	-	-	-	

注1) 使用量：エアレススプレー塗りでの標準値です。被塗物の形状、素地の状態、塗装条件などにより異なる場合があります。

注2) ミストコート：厚膜形ジンクリッチペイントは、塗膜中に多数の空孔があり、その中にある空気をそのままにして一度に厚く塗り重ねると発泡の原因となります。したがって、その空孔をうめるため、あらかじめすぐ上に塗り重ねる有機系塗料を30～60%希釈して塗付し空孔をうめる工程をいいます。

## 標準塗装仕様例

### ●各種プラント外面

施工場所	工程	塗料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)		塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	シンナー名 (希釈率%)		標準膜厚 (μm/回)
			はけ・ローラー	エアレス			はけ・ローラー	エアレス	
工場	素地調整	プラスト処理 (ISO Sa2½) 1種ケレン							
	ショッププライマー	ニッペジンキー8000 メタルグレー (有機ジソクリッチプライマー)	-	0.20	1	16時間以上 6か月以内	ニッペジンキー 8500シンナー	5~15	15
		または ニッペジンキー1000P (無機ジソクリッチプライマー)	-	0.16	1	3日以上 6か月以内	ニッペジンキー 1500シンナー	0~5	
	下塗り (1)	ハイボン30 マスチックプライマー	-	0.39	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー	0~10	80
	下塗り (2)	マイカSE タフシルバークレー	-	0.35	1	16時間以上 12か月以内	ハイボンエポキシ シンナー	0~10	60
							-		
現地	補修 素地調整	電動工具を主体とし、ISO St3 までさびを落とし、ハイボン20デクロにて補修塗装を行う。							
	中塗り	ハイボン30 マスチック中塗K	0.14	-	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー	0~5	30
	上塗り	ハイボン50 上塗	0.12	-	1	-	ハイボンウレタン シンナー	0~10	30

※上記仕様は、ふっ素樹脂塗料仕上げも可能です。中塗りにデュフロン100中塗K、上塗りにデュフロン100フレッシュIIをご使用ください。

### ●海洋構造物(大気部)

施工場所	工程	塗料名	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)		塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	シンナー名 (希釈率%)		標準膜厚 (μm/回)
			エアレス				エアレス		
前処理	素地調整	プラスト処理 (ISO Sa2½) 1種ケレン							
	プライマー	ニッペジンキー1000P	0.16		1	3日以上 6か月以内	ニッペジンキー 1500シンナー (0~5)		15
工場	2次 素地調整	プラスト処理：ISO Sa2½以上にケレンする。							
	下塗り (1)	ニッペジンキー1000GU	0.60		1	48時間以上 10日以内	ニッペジンキー 1500シンナー (0~5)		75
	ミストコート	ハイボン 20 ミストコート下塗	0.16		1	24時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー (30~50)		-
	下塗り (2)	ハイボン 30 マスチックプライマーK	0.39		2	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー (0~10)		80
	中塗り	ハイボン 30 マスチック中塗K	0.17		1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー (0~10)		30
上塗り	ハイボン 50 上塗	0.14		1	-	ハイボンウレタン シンナー (10~20)		30	

• 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

• 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

※上記仕様は、ふっ素樹脂塗料仕上げも可能です。中塗りにデュフロン100中塗K、上塗りにデュフロン100フレッシュIIをご使用ください。

## 施工要領

### 1. 素地調整(塗装面の下地処理)

素地調整の良否は塗膜性能(密着性・防さび性)に大きく影響しますので、仕様に規定されているグレード(ISO Sa2½)以上の素地調整を行ってください。なお、ジンクリッチペイントは亜鉛末が多く配合されたビヒクル(樹脂)分の少ない塗料のため、金属面の凸凹(アンカパターン)が必要ですので素地調整としてはブラスト工法で十点平均粗さRzjis30~70μm程度の粗さを作ってください。

### 2. 塗料のかくはん

ジンクリッチペイントは亜鉛末と液などを使用前に規定比率で混合しますが、混合する場合、まず液(塗料液、硬化剤など)をかくはんしてから亜鉛末を徐々に混入し、均一な状態にしてご使用ください。

### 3. 塗料の希釈

希釈シンナーは必ず専用のシンナーをご使用ください。

## お願い

1. 休憩時は、ホース中の塗料はホースより排出し、ホース中に専用シンナーを入れ、塗装用具は専用シンナーに浸し、作業終了後、すぐに専用シンナーで洗ってください。
2. ニッペジンキー1000P、1000GUなどの無機質ジンクリッチペイントを塗装の場合は、できるだけジンクリッチ専用エアレスで塗装してください。
3. 混合した塗料は、長時間経過すると硬化して使用不可能となりますから、使用量をあらかじめ決めて、塗料の調整をしてください。各塗料のポットライフについては塗料比較をご覧ください。
4. 希釈剤は必ず専用シンナーを使用してください。ニッペジンキー8500シンナーとニッペジンキー1500シンナーはまったく違いますので、間違わないようにお願いします。
5. 上塗りとして使用される塗料の種類は、2液形のエポキシ系塗料、ウレタン系塗料、ふっ素系塗料などが適しています。
6. ニッペジンキー1000P、1000GUなどの無機質ジンクリッチペイントの硬化には空気中の水分を必要としますので、湿度50%RH以上の状態で塗装してください。
7. 油性、フタル酸樹脂塗料など、耐アルカリ性の劣る塗料は塗り重ねができません。
8. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行なってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
9. 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
10. 塗料漏洩の原因となりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
11. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
12. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

## 注意事項

### ニッペジンキー1000P

- 粉末は亜鉛末ですので、水ぬれ禁止です。
- かくはんはディスパーで行い、使用中もかくはんを続けてください。
- 調合後80~100メッシュのふるいでろ過してから使用してください。
- 低湿時(50%以下)での塗装の場合は所定以上の塗り重ね乾燥時間をとってください。
- 過度の膜厚になりますと塗膜が脆くなる場合がありますので、厚膜に塗装しないでください。
- 塗装方法はエアレススプレー塗りが原則です。

### ニッペジンキー1000GU

- 粉末は亜鉛末ですので、水ぬれ禁止です。
- ニッペジンキー1000Pの上に塗り重ねる場合は必ずブラスト処理を実施してください。
- かくはんはディスパーで行い、使用中もかくはんを続けてください。
- 調合後80~100メッシュのふるいでろ過してから使用してください。
- 低湿時(50%以下)での塗装の場合は所定以上の塗り重ね乾燥時間をとってください。
- 塗装方法はエアレススプレー塗りが原則です。
- 1回塗りで150μmを超えるとワレが生じますので注意してください。
- 2液型エポキシ系塗料などを塗り重ねる前に封孔処理(ミストコート処理)が必要です。

### ニッペジンキー8000メタルグレー

- かくはんはディスパーで行い、使用中もかくはんを続けてください。
- あらかじめ塗料液に硬化剤を混合し、十分かくはんしてください。その後、粉末・シンナーをかくはんしながら徐々に添加してください。
- 調合後80~100メッシュのふるいでろ過してから使用してください。
- 塗装方法はエアレススプレー塗りが原則です。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。

### ニッペジンキー8000HB、ニッペジンキー8000ファインHB

- かくはんはディスパーで行い、使用中もかくはんを続けてください。
- 調合後80~100メッシュのふるいでろ過してから使用してください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- 低温時のエアレススプレー塗装において、塗り重ねにより厚塗りになる部分は、スプレーバスの間隔を5分程度あけながら塗装してください。
- 塗料液/硬化剤の保管中、容器に直射日光が当たりますと、容器内で内容物が変質する場合がありますので、保管は日の当たらない涼しい場所で行ってください。
- 塩化ゴム系塗料への塗り重ねは基本的には避けてください。ただし、条件によっては塗装可能な場合がございますので、当社営業所までお問い合わせください。

安全衛生上の注意事項(ニッペジンキー8000HB 塗料液)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
5. 塗装中に発生した塗料ダストや粉塵には、亜鉛末が高濃度で含まれていますので発火しやすく、また水と反応すると水素ガスが発生することがありますので、常に除去しておくようにしてください。
6. 容器を密閉しておいてください。
7. 容器を接地/アースをとってください。
8. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
9. 火花を発生させない工具を使用してください。
10. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
11. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
12. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
13. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
14. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
15. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
16. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
17. 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
18. 口をすすいでください。
19. 漏出物を回収してください。
20. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
21. 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
22. 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

23. 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
24. ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。
25. 眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当を受けてください。
26. 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。
27. 施設して保管してください。
28. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
29. 直射日光や水濡れは厳禁です。
30. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
31. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
32. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
33. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
34. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
35. 缶のフタをあけるとときにはガスが発生し容器に圧力がかかることがありますので保護めがねを着用し、布(ウエス)でフタを押さえながらガスや塗料の噴出に注意して静かに開栓してください。(スプレー缶を除く)
36. 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
37. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って不燃性の容器にフタをして保管してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体及び蒸気/強い眼刺激/吸入すると有害/発がんのおそれの疑い/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

安全衛生上の注意事項(ニッペジンキー8000HB 硬化剤)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
5. 容器を密閉しておいてください。
6. 容器を接地/アースをとってください。
7. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
8. 火花を発生させない工具を使用してください。
9. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
10. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
11. 妊娠中/授乳期中は接触を避けてください。
12. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
13. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
14. 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
15. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
16. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
17. 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
18. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
19. 口をすすいでください。
20. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
21. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
22. 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。

23. 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
24. 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
25. ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。
26. 皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当を受けてください。
27. 眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当を受けてください。
28. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
29. 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。
30. 施設して保管してください。
31. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
32. 直射日光や水濡れは厳禁です。
33. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
34. 屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家屋の換気口、空気取入れ口等に目障りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにしてください。
35. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
36. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
37. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
38. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/吸入すると有害/発がんのおそれの疑い/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/授乳中の子に害を及ぼすおそれ/臓器の障害/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に有害

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ●©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co.,LTD. All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180  
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
 中部支店 ☎052-461-1960

カタログNo.

NP-CO25

TY240202T

2024年2月現在